

躍動

ジャンル	記事題目	執筆者	発行年月	巻(号)	頁
躍動	反省、そして前進	戸高義一	2012年4月	17(4)	226
躍動	材料信頼性研究活動を通じて感じる基礎・基盤研究の重要性	小野嘉則	2012年5月	17(5)	302
躍動	日々是匍匐前進	村上俊夫	2012年6月	17(6)	368
躍動	材料開発を通して学び、感じること	平川直樹	2012年7月	17(7)	493
躍動	ターニングポイント	土田紀之	2012年8月	17(8)	581
躍動	その場観察技術を駆使した鉄の浸炭溶融反応理解への挑戦	大野光一郎	2012年9月	17(9)	636
躍動	変化をチャンスに～製鋼精錬研究の現場から～	佐々木直人	2012年10月	17(10)	707
躍動	格子欠陥の振る舞いに学ぶ	下川智嗣	2012年11月	17(11)	782
躍動	探求心	諸岡 聡	2012年12月	17(12)	864
躍動	沸騰冷却予測技術の構築に向かって	小林一暁	2013年1月	18(1)	29
躍動	塑性力学の発展と工業界への貢献	濱崎 洋	2013年2月	18(2)	75
躍動	素材循環の“見える化”から次のステップへ	醍醐市朗	2013年3月	18(3)	130
躍動	プロセス制御の開発を通じて	小笠原知義	2013年4月	18(4)	182
躍動	中性子・X線小角錯乱法の普及を目指して	大場洋次郎	2013年5月	18(5)	257
躍動	階層的ひずみ測定によるFCC単相多結晶体の変形挙動解析	小島真由美	2013年6月	18(6)	304
躍動	資源循環型製鉄プロセスの実現に向けて	栗内祐輝	2013年7月	18(7)	409
躍動	金属融体の表面張力測定から学んだ研究に対する姿勢	小澤俊平	2013年8月	18(8)	477
躍動	世界一の粒子シミュレーションに向かって	三尾 浩	2013年9月	18(9)	525
躍動	金属の塑性変形に魅せられて	吉田健吾	2013年10月	18(10)	581
躍動	分析発の新材料開発を目指して	田中裕二	2014年2月	19(2)	126
躍動	これまでの研究の歩みと今後の抱負	嶋崎真一	2014年3月	19(3)	187
躍動	多様性と深まりの両立:研究トレードオフ関係への挑戦	田路勇樹	2014年4月	19(4)	259
躍動	製鋼プロセス研究開発を通じて	松井章敏	2014年5月	19(5)	325
躍動	鋼の更なる高強度・高靱性化の指導原理構築を目指して	田中将己	2014年6月	19(6)	376
躍動	環境調和型冷延潤滑システムの開発を通じて	藤田昇輝	2014年7月	19(7)	490
躍動	熱力学の研究に魅力を感じて	長谷川将克	2014年8月	19(8)	563
躍動	理論と現場と制御研究者	小林俊介	2014年9月	19(9)	630
躍動	物質の世界を探検するところ	江場宏美	2014年10月	19(10)	699
躍動	高温熱物性に魅せられて	遠藤理恵	2014年12月	19(12)	906
躍動	集合組織の一貫予測モデル実現に向けて	田中泰明	2015年1月	20(1)	20
躍動	板材成形シミュレーションを通して得た出会い	浜 孝之	2015年2月	20(2)	58
躍動	鉄鋼業でのプロセス研究開発を通じて	黒木高志	2015年3月	20(3)	111
躍動	鉄鋼材料の相変態における結晶学と元素分配	宮本吾郎	2015年4月	20(4)	145
躍動	高炉操業の安定化のために	田川智史	2015年5月	20(5)	202
躍動	電縫鋼管に関する技術開発を通じて	井口敬之助	2015年6月	20(6)	246
躍動	資源利用に関わるサプライチェーンリスク最小化に向けたリソースロジスティクス研究	松八重一代	2015年7月	20(7)	336
躍動	真空浸炭の研究を通して	森田敏之	2015年8月	20(8)	384
躍動	IoT環境における実仮想融合型生産スケジューリング	藤井信忠	2015年9月	20(9)	429
躍動	阪大の製鉄研究を受け継いで	小西宏和	2015年10月	20(10)	480
躍動	これまでを振り返って	田中智仁	2015年11月	20(11)	534
躍動	企業研究者の海外留学体験	名古屋秀徳	2016年1月	21(1)	25
躍動	鉄鋼研究との出会い	山中晃徳	2016年2月	21(2)	76
躍動	高温の固液反応界面その場観察への挑戦	吉川 健	2016年3月	21(3)	124
躍動	資源循環に関するハイブリッド型研究とその魅力	山末英嗣	2016年4月	21(4)	180
躍動	溶融めっき鋼板に関する研究開発を通じて	浦中将明	2016年5月	21(5)	239
躍動	製鉄-製鋼技術を融合した新しい製鉄技術を目指して	丸岡伸洋	2016年7月	21(7)	397
躍動	圧延転写技術を活用した新商品開発を通じて	藤井康之	2016年7月	21(7)	402
躍動	鉄鋼上工程計測への挑戦	迫田尚和	2016年8月	21(8)	466
躍動	オーステナイト鋼の塑性変形の面白さと我が研究の反省点	上路林太郎	2016年9月	21(9)	526
躍動	全反射蛍光X線分析法の鉄鋼およびその関連分野への応用をめざして	国村伸祐	2016年10月	21(10)	584
躍動	製鋼研究を通じて学んだこと	田口謙治	2016年11月	21(11)	651
躍動	高品位鉄系非晶質粒子の作製とその応用	吉年規治	2017年1月	22(1)	23
躍動	チタンに関する研究開発を通じて	國枝知徳	2017年2月	22(2)	87
躍動	ケイ酸塩融体・ガラスとの出会い	助永壮平	2017年3月	22(3)	143
躍動	鉄鋼との10年	南部将一	2017年4月	22(4)	191
躍動	徐々にマイクロへ	大塚貴之	2017年5月	22(5)	259
躍動	高炉プロセスの研究開発を通じて	柏原佑介	2017年6月	22(6)	297
躍動	ハイパーコールの利用技術の概要とその可能性	宍戸貴洋	2017年7月	22(7)	395
躍動	鉄鋼の損傷劣化評価の難しさと面白さ	白岩隆行	2017年8月	22(8)	454
躍動	多様性への流れの中で	伏脇祐介	2017年9月	22(9)	506
躍動	X線回折を使って鉄鋼解析の高度化をめざす	北原 周	2017年10月	22(10)	557
躍動	測りたいものがあつたから装置を作った	齊藤敬高	2017年11月	22(11)	612
躍動	熱間流動応力の測定を通して	柳田 明	2018年1月	23(1)	26
躍動	鉄合金のマルテンサイト変態と超弾性の研究	大森俊洋	2018年2月	23(2)	85
躍動	ミクロスケールの水素脆化試験を目指して	富松宏太	2018年4月	23(4)	169
躍動	高温プロセス研究の醍醐味	松浦宏行	2018年6月	23(6)	263
躍動	鉄鋼における冷却プロセスの研究を通じて	福田啓之	2018年6月	23(6)	268
躍動	複相鋼の強度/延性におけるロバスト性改善指針:微視的損傷の発達を止める	小山元道	2018年7月	23(7)	365
躍動	プロセス制御技術者 10年目の反省文	橋本佳也	2018年8月	23(8)	426
躍動	役に立つのはローテクの組み合わせかもしれない	久保裕也	2018年9月	23(9)	476
躍動	学問の道を歩み始めて-X線回折による研究-	熊谷正芳	2018年10月	23(10)	541
躍動	製鋼プロセスの研究開発を通じて	斧田博之	2018年11月	23(11)	602
躍動	塑性加工教育研究の道程と後来	吉田佳典	2019年1月	24(1)	17

躍動	表面硬化熱処理技術に関する研究と海外留学体験	辻井健太	2019年2月	24(2)	89
躍動	高温物性を基軸として	中本将嗣	2019年3月	24(3)	145
躍動	耐熱鋼の常識と非常識	光原昌寿	2019年4月	24(4)	212
躍動	焼結層内のその場観察手法の開発	平 健治	2019年5月	24(5)	291
躍動	スウェーデン留学を振り返って	吉岡孝宜	2019年6月	24(6)	345
躍動	鉄鋼業における最適化技術の開発	吾郷正俊	2019年7月	24(7)	455
躍動	圧延研究とともに	河西大輔	2019年8月	24(8)	532
躍動	ドイツ・マックスプランク鉄鋼研究所への留学体験	桂 翔生	2019年9月	24(9)	578
躍動	造粒の数値シミュレーション: 粒子付着現象の解析からプロセス設計まで	仲村英也	2019年10月	24(10)	642
躍動	電子顕微鏡による三次元解析に魅せられて	西山武志	2019年11月	24(11)	710
躍動	新たな発想で迫る塑性変形の面白さと未来	古島 剛	2020年1月	25(1)	31
躍動	鉄鋼冶金研究における私の守破離	中田伸生	2020年2月	25(2)	87
躍動	コークスプロセスの研究開発を通じて	林崎秀幸	2020年3月	25(3)	146
躍動	マンチェスター大学への留学	江口健一郎	2020年4月	25(4)	206
躍動	秋山友宏先生との思い出と自然型研究者としての誓い	能村貴宏	2020年5月	25(5)	284
躍動	凝固組織・偏析シミュレーションの研究を続けて	藁 千修	2020年6月	25(6)	350
躍動	カナダ・マクマスタ大学での研究留学を通じて	古米孝平	2020年7月	25(7)	448
躍動	熱延プロセスの研究開発を通じて	山口慎也	2020年8月	25(8)	525
躍動	顧客対応力向上を目指した、線材二次加工生産管理システムの構築	井本考亮	2020年9月	25(9)	579
躍動	迅速な鉄鋼分析法の確立を目指して	今宿 晋	2020年10月	25(10)	637
躍動	組織シミュレーションと材料パラメータ推定	塚田祐貴	2020年11月	25(11)	710
躍動	表面処理研究を通じて学んだこと	仙石晃大	2021年1月	26(1)	19
躍動	金属成形解析のためのマルチスケール塑性論 フレームワークの構築に向けて	大家哲朗	2021年2月	26(2)	81
躍動	Flamelet approachに基づく化学反応を伴う熱流体解析	松下洋介	2021年3月	26(3)	134
躍動	非定常温度場プロセスの理解と制御を目指して	鈴木飛鳥	2021年4月	26(4)	201
躍動	骨を埋める価値のある製銑研究	岩見友司	2021年5月	26(5)	283
躍動	スケールアップ試験に思うこと～期待とその役割～	紫垣伸行	2021年6月	26(6)	333
躍動	高速ビジョンを用いたパノラマ振動イメージングと今後	島崎航平	2021年7月	26(7)	443
躍動	大型鍛鋼品の熱処理解析技術の構築	柳沢祐介	2021年8月	26(8)	524
躍動	高耐食ステンレス鋼の研究を通じて	武井隆幸	2021年9月	26(9)	574
躍動	異分野アプローチとの連携から拓く高温融体プロセス研究の新展開	鈴木賢紀	2021年10月	26(10)	625
躍動	アトムプローブを用いた鉄鋼材料微視的組織解析—微細TiC析出物による強化能について	小林由起子	2021年11月	26(11)	676
躍動	組織計算から塑性加工への貢献を目指して	上島伸文	2022年1月	27(1)	27
躍動	高温融体に関わる研究を通じて	高平信幸	2022年2月	27(2)	86
躍動	TiAl合金における状態図研究	中島広豊	2022年3月	27(3)	134
躍動	英国ケンブリッジ大学への留学体験	古庄千紘	2022年4月	27(4)	206
躍動	凝固・結晶成長の追究—3D/4D定量データの可能性—	鳴海大翔	2022年5月	27(5)	299
躍動	スケール形成を抑制する材料開発～研究で地域貢献することを目指して～	盛田元彰	2022年6月	27(6)	372
躍動	画像計測という切り口で鉄鋼プロセス革新に貢献する	大野紘明	2022年7月	27(7)	500
躍動	熱間圧延における酸化皮膜の研究を通じて	原 健一郎	2022年8月	27(8)	583
躍動	高温エロージョン・コロージョンに関する研究	米田鈴枝	2022年9月	27(9)	648
躍動	介在物制御にたずさわって	杉村朋子	2022年10月	27(10)	711
躍動	小型中性子源を用いた中性子回折高度化の多様性と魅力	岩本ちひろ	2022年11月	26(11)	785